

捨石マウンド防護ネット

❖ 工事中のケーソンマウンド先端の洗掘防止に

捨石マウンド防護ネットの概要

極太丸鋼とチェーンネットによる新方式の捨石マウンド防護工です。

軽量性により、施工が容易で、仮設材として優れた経済性を発揮します。

茨城県常陸那珂港東防波堤で適用され、その優れた性能が確認されました。



特 長

> 安定性

鋼材はコンクリートに比べて水中比重が非常に大きいので、波浪に対する安定性に優れます。

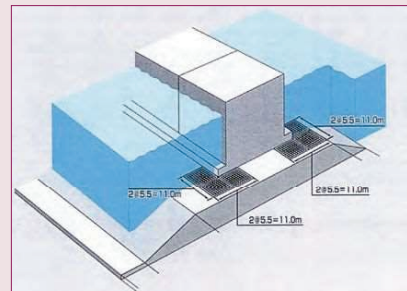
> 施工性・耐久性

軽量で水中抵抗も小さいため、取り扱い易く工期短縮ができ、部材に余裕があるので腐食後も十分な強度があります。

> 経済性・対応力

繰り返し使用が可能で、軽量なため敷設・撤去・運搬・保管に必要な重機が小型化できます。また、波浪条件や現地形状に合わせて自由設計できる対応力があります。

適用例



常陸那珂港(平成8年度)

- 寸法: 5.5m × 5.5m ● 重量: 約9t × 6枚
- 部材: 外枠φ200mm、チーヅφ30mm

実験・実績

> 実験により安定性を確認

■ 実験設備

(長水路: 幅2m × 高さ1.5m × 長さ40m)

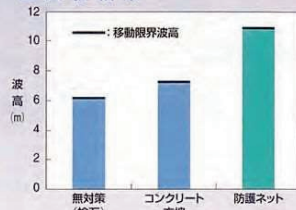


■ 実験条件

● 周期	: 14.0秒(規則波)
● 波 高	: 1.5~10.9m
● マウンド先端水深	: 18.5m
● 供 試 体 重 量	
捨 石	: 90~110kg/個
コンクリート方塊	: 43.2t/基
防護ネット	: 7.9t/基

縮尺率: S=1/45

■ 実験結果



> 現場でも十分な安定性を発揮

- 台風時の波浪に対しても洗掘を防ぎました。
($H1/3=6.77m$ 、 $T1/3=10.6sec$)
- 施工時間はコンクリート方塊の1/4以下。
本工法: 1.5h/箇所、従来工法: 6.5h/箇所
- さらに長期使用可能と判断されました。
3年後の調査で腐食・損傷が少ないことを確認。

